



ひるば

vol. 102

ひととき

施設長 中島 聖恵

5月の連休の後、何かと予定が入って、休みが取れず、先日久々に行きつけのプールへ出かけました。二ヶ月ぶりです。乳癌を患ったときは、病み上がりから立ち上がるのに随分プールのお世話になりました。太陽の光を受けてキラキラと輝く水面を水をかいてたつた十分歩くだけ、全てに自信をなくし抑うつ状態の心が見る見る開放されて行くのを感じ、萎えていた肩にも腕にも足にも目を追う毎に力が付いていくのを実感したのを覚えています。それ以来、土・日とお休みが続くときには、必ずプールへ行くようにしています。ウイークデイは殆ど仕事をしているので、食事をしたり遊びに行く友人が、気がついたら何時しか私の周りからいなくなっています。そんな私でもプールへ行くと仲間と出逢えるのです。Tさんです。Tさんとは昔或る水泳教室で顔見知りだったので、そのプールが閉鎖されてからすっかりご無沙汰していました。

ところが、乳癌のお陰でプール通いを始めて、彼女と運命的に再会をしたのです。プールから出てきた私を見て、「中島さんその髪どうなされたの？真っ白じゃない！大病なされたの？」Tさんとの再会、第一声でした。あまりに率直で温かい言葉に「ええ、乳癌になってね、抗がん剤の副作用で髪の毛が抜けてしまったのよ。」と私。「わあ、そうだったの。辛かったでしょう。私はね、人生で逆境に会った人しか信じないの。」彼女もご主人を亡くされ、大変な修

羅場を潜り抜けてこられたことを聞かせていただいたことを思い出しました。「本物の人生はこれからよ。頑張りましょう。」私は背中をドンと押されたような気がして、力強い仲間が出来たのを感じました。彼女は私よりいくつも年上。ご主人の跡を継いで今は社長となり、何軒もある店舗を運営されています。何時あってもにこやかで前向き、暫く会わないと、「トルコへ行ってきたのよ。」とか、ドライブへ行って来たとか楽しげに旅行の話をしてくれるのです。彼女の話の聞いてみると、いつも引き込まれて、私も一緒に旅しているような気持ちになつていっています。何と安上がりな外国旅行でしょう。

もう一人の仲間は私よりずっと若くて、とてもきれいな方、子供三人残してご主人に先立たれ、ご主人のご両親に子供さんを見てもらいながら、ご自分も働いてこられました。三人とも立派に成人されて、昨年から今年にかけて一番に次男さん、次は長男さん、今年に入つて娘さんの結婚が決まって、「結婚式に行つて来るわね。写真見せるから。」と、別れてまだ会っていません。時間帯が合わないのでしょうか。

逆境を乗り越えた仲間には、共に明るく清々しい印象です。人は、苦難や問題や逆境から逃げないで、真正面に向き合っていると云われています。お二人を見てみるとまさに納得と頷けるのでした。



川柳

「鏡」

欠点を 写さぬ鏡 ないものか
鏡みて 見惚れているの 八十路過ぎ
子を脅し 大人楽しむ 鏡獅子
生きざまを 語りし顔か 鏡見る
正直な 鏡が見栄を たしなめる
手鏡に 映る顔には 嘘はなし
肥満体 鏡の中でも 肥満体
手鏡を 持たせて歯医者 金もうけ
年輪を 夫婦鏡に 写し出す
毎朝を 鏡に向かう 我亡母
読者より
残日や ほのぐら惜しみ 湯にひたる
万緑や 湯郷宿の 青畳

よしか 金子 晴夫 皿井 久子 初音 千里 和夫 栄子 厚彦 育枝 政子

七月の行事予定

七日(水) 一四時 まどかグループ
八日(木) 一四時 川柳「髪」
一〇日(土) 一四時 七夕茶会
一二日(月) 一四時 押し花
一四日(水) 一四時 エステ
一五日(木) 九時 写真クラブ
一六日(金) 一四時 お花
一七日(土) 一八時 夏祭り
一八日(日) 九時 散髪
二三日(金) 九時五〇分 買い物
二七日(火) 一一時 食事会



操南公民館 写真クラブ作品集



江浪和夫・栢野登志雄
黒崎義・陶山進
松井勉・森山周治

